

船舶事故等調査報告書

平成22年1月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009長第113号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年8月23日（日） 09時50分ごろ	
発生場所	佐賀県松浦市 伊万里港福島灯標から真方位119° 2,420m付近 (概位 北緯33° 20.96′ 東経129° 50.80′)	
事故等調査の経過	平成21年9月15日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 水上オートバイ ^{ミッケイ} MK、2.45m(Lr) 270-42391福岡、個人所有 B 水上オートバイ ^{ミッシェル} Michael、2.66m(Lr) 270-45728佐賀、個人所有	
乗組員等に関する情報	A 船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 B 船長、特殊小型船舶操縦士	
死傷者等	A なし B 負傷 1人（B船長）	
損傷	A 船首先端部にFRP剥離を伴う擦過傷 B 右舷船首部にFRP剥離を伴う擦過傷	
事故等の経過	A船は、船長Aほか1人が同乗し、伊万里港福田地区のレジャーボート用船揚場（以下「ゲレンデ」という。）を出て、遊走したのちにゲレンデに帰るため福田防波堤北端付近から南東進中、B船は、船長Bが乗船し、遊走したのちにゲレンデに帰るため南進中、平成21年8月23日09時50分ごろ、伊万里港において、A船の船首先端部とB船の右舷船首部とが衝突した。 衝突の結果、船長Bが落水したときにハンドルで胸部を打って右肋骨を骨折したが、A船の乗船者は、落水することもなく、負傷もなかった。両船に損傷が生じた。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 なし、視界 良好 海象：海面 平穏	
その他の事項	船長Aは、ゲレンデの空いているところを探しており、ゲレンデから出航する船がないか気になっていた。 A船は、本事故発生直前、ゲレンデの空いているところを発見し、そこへ向けようとしていた。 船長Bは、自船以外に航走している船はいないと思っていた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船が、適切な見張りを行っていなかったため、左舷方から接近するB船に気付かず、衝突を避けるための措置をとらなかったものと考えられる。

		B船が、適切な見張りを行っていなかったため、右舷方から接近するA船に気付かず、衝突を避けるための措置をとらなかったものと考えられる。
原因	本事故は、伊万里港において、A船が南東進中、B船が南進中、いずれも適切な見張りを行っていなかったため、互いの存在に気付かずに航行し、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。	